

会 議 録

会議名	平成26年度 第3回 相模原市経営評価委員会		
事務局	企画部 経営監理課		
開催日時	平成26年8月25日(月曜日) 午後6時00分～午後7時40分		
開催場所	市役所本庁舎 本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	出席委員10人(別紙のとおり)	
	市	企画部長	
	事務局	4人(経営監理課長 他3人)	
公開の可否	公開可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> 1 開会 2 傍聴者確認 3 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) さがみはら都市経営指針実行計画取組結果評価に関する建議書(案)について (2) 事務事業評価について (3) その他 		

主な内容は次のとおり。

- 1 傍聴者確認
- 2 議事
 - (1) さがみはら都市経営指針実行計画取組結果評価に関する建議書(案)について
建議書(案)について審議を行った。
 - (2) 事務事業評価について
事前質問への回答とヒアリング対象事業を決定した。
 - (3) その他
次回委員会開催日程の調整を行った。

(以下質疑応答・意見交換 委員の発言、事務局の発言)

(1) さがみはら都市経営指針実行計画の進捗状況の評価等について

「受益者負担の適正化の推進」の意見欄について、『受益に応じた負担を求めることについて理解を深める』とあるが、誰が誰に理解を深めるのかわからないので、これがわかるように修正していただきたい。

市の取組として進めていくことがわかるよう修正する。

「債権回収の強化」の意見欄について、納税義務の表現を『納めるべきもの』としているが、『納めなければならない』としたほうがよい。

そのとおり修正する。

「パークマネジメント計画の策定と実施」の意見欄について、『公園が子供や若者のたまり場になっている』との表現になっているが、たまり場として使用することが好ましくないような感じであり、誤解を招く恐れがあるので、修正していただきたい。

良好な公園環境を保持していくために、どのようなことが必要なのかという観点で整理し、誤解を招かない表現に改める。

その他特記事項でモラルやマナーについて触れているが、モラルやマナーについては幼少期の教育が重要と考えている。家庭へのアプローチなど幼少期にどのような取組が必要なのか考えていく必要があるのではないかと。

現在、市では子どもの権利条例の検討が行われているなど、様々な取組が進んでいることは承知しているが、今回は実行計画に対する評価なので、建議書に加える意見は、あまり広げない方がよい。

モラルやマナーに関する根本的な問題への指摘だと思うが、建議書には、実行計画の取組を通してモラルやマナーに関する問題が見受けられたため、市民生活や地域生活においても、これら市民の意識を醸成するため幼少期からの取組が必要であることを記載する形で意見を反映してはどうか。

特記事項なので、あまり細かい部分まで触れるのはどうかと思う。個々の取組項目に入れる意見と特記事項に入れる意見をきちんと区別した方がよい。

また、モラルやマナーの向上については、あまり幼少期にこだわると、そこに問題が集中してしまうので、大人も含めた意識の醸成としたほうがよいのではないかと。

たしかにモラルやマナーに関する問題の根底にあることだとは思いますが、幼少期にこだわる必要はないと思う。

切り口として、道徳的なことで意見をまとめるのではなく、コスト意識など行革的な観点から意見をまとめた方がよいのではないかと。

モラルやマナーに対する意識を持っていただくことは、重要なことなので、このことについての意見は必要である。

「自助」「共助」の視点も重要となってくるので、これを加えた方がよい。また、道徳的な部分については、当委員会がどこまで意見を言うべきなのかという問題もある。

都市経営指針にある協働の推進の観点から、これらの意見をまとめてはどうか。

モラルやマナーの向上が、直接、財政的な負担の軽減につながるイメージとなっている。結果として負担の軽減につながるイメージとしたほうがよい。財政的な負担の軽減を前面に出すことは根拠も乏しく、難しい部分があるので、一般論として整理した方がよい。

いただいたご意見を整理して修正等をしたうえで、委員の皆様には、再度確認していただくようにする。

(2) 事務事業評価について

「峰山霊園整備事業」については、一次評価を拡充としているためヒアリングを希望したい。

○「市道整備事業」について、整備方針の内容を確認したいのでヒアリングを希望したい。

○ヒアリング希望が3人からあった事業のうち、「峰山霊園整備事業」、「小田急多摩線延伸促進事業」、「市道整備事業」が拡充としているため、これをヒアリングしてはどうか。

ヒアリング対象事業については、「児童養護施設等整備事業」、「地域包括支援センター運営事業」、「峰山霊園整備事業」、「中心市街地活性化事業」、「小田急多摩線延伸促進事業」、「市道整備事業」の6事業とする。

(3) その他

次回の委員会の開催は、9月12日午後6時からを予定する。

氏名	所属団体等	出欠
山口 由紀子	相模女子大学教授	出
川崎 一泰	東洋大学経済学部教授	出
出雲 明子	東海大学准教授	出
霧生 卓	公認会計士	出
田所 昌訓	相模原市自治会連合会	出
長谷川 光明	相模原商工会議所	出
大島 浩之	公募委員	出
西村 初代	公募委員	出
芳賀 貞江	公募委員	出
安田 隆春	公募委員	出